

平成 30 年度 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業
実践校視察報告書

1. 視察日時
平成 30 年 10 月 27 日 (土) 9:25～11:15
2. 学校(推進校)名
福島県福島市立平野小学校
(〒960-0231 福島市飯坂町平野字石堂 10)
3. 対象
6 学年 76 名
4. 実施場所
平野小学校 体育館
5. テーマ
「オリンピックに学ぼう」(千田健太 氏)
6. 実施目的
 - ・ 失敗を恐れず自ら行動を起こす人材、将来に向かって自信と勇気を兼ね備えた人材を育てていく。
 - ・ 障がいの有無、人種、言語等、様々な違いがあることを理解しつつ、共につながり、助け合い、支え合って生きていく力を身に付ける。
 - ・ 東京 2020 大会を契機に、国際社会や地域社会の活動に関心を持って、主体的、積極的に社会に参画できる人材を育てていく。
7. 実践内容

第一部

 9:25～10:10 千田健太 氏 講演
 - (1) 自己紹介
 - ・ 出身地
 - ・ 現在の仕事

(2) オリンピックについて

- ・五輪マークの意味
- ・クーベルタン、嘉納治五郎
- ・オリンピックの価値（卓越性、友愛、尊重）
- ・2012年ロンドン大会のエピソード（選手村の様子、会場の写真）

(3) フェンシングについて

- ・種目（エペ、サーブル、フルーレ）
- ・用具
- ・ドーピング検査
- ・始めたきっかけ
- ・2012年ロンドン大会までの道のり
 - スランプ中、24時間フェンシングを意識して行動していた。
 - オリンピックでは、選手は4年分の思いを抱えていることから、とても緊張する。
 - 試合でしっかり集中することがひとつの山場となる。

(4) まとめ

- ・アスリートには上りと下りどちらにも試練が待ち受けている。
(良い状態＝上りをキープする難しさ、悪い状態＝下りを脱却する難しさ)
- ・日々を積み重ねることが大切である。
- ・周りの人の助言に耳を傾けてみる。

第二部 10:30～11:15 フェンシング競技体験

(1) 一斉指導（足の動き、手の位置）

(2) 体験キットを用いた体験（3グループ ローテーション）

実践校視察
(福島県)



写真 1. 講演の様子



写真 2. 実技（全体練習）の様子



写真 3. 実技（体験キットを用いた実践）の様子①



写真 4. 実技（体験キットを用いた実践）の様子②